

平成 19 年度日本環境安全事業ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会
議事要旨

1 開催日時 平成20年3月24日(火) 13:30～15:30

2 開催場所 ホテルアジュール竹芝14F 天平の間

3 出席者委員 永田委員長、岡田委員、田辺委員、長谷川委員、原口委員、細見委員、
益永委員、若松委員

4 議 題 公開

(1) 平成 19 年度における各部会の取組状況について

日本環境安全事業(株)ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会に置いている6つの部会の取組について、資料に基づき説明。

主な意見等は次のとおり。

- ・ 作業安全衛生部会の検討状況について、簡単なまとめを作成し、当委員会にも報告すべきである。

(2) 平成 19 年度における各事業の進捗状況について

日本環境安全事業(株)の稼働中の4事業および、建設を進めている2事業について、資料に基づき、現況について説明。

主な意見等は次のとおり。

- ・ 各事業所において、他事業所のトラブルについての報告を受けたのち、対応方法を検討し本社にフィードバックした内容については、本社でさらに整理し、ルール化したほうがよいのではないか。
- ・ 北九州事業所のサンプリング装置からの液漏れは、テフロン製の継手の締め付け力の低下が原因だったようだが、豊田事業所のPCB漏洩事故の際もテフロン製のパッキンに問題があった。製品については、耐久性の評価をきちっとやって、早目に交換するべきである。
- ・ 資料に各事業の処理実績が掲載されているが、計画処理量との関係が分かるようにし、さらに、次年度の処理計画もどうなっているか見られるようにすべきである。
- ・ 北九州事業のヒヤリハット件数が少ないが、別に掲載されている設備不具合等未解決の懸念項目をヒヤリハット報告に含めれば、増えていく。ヒヤリハットについては定義をはっきりさせて、整理させたほうがよいのではないか。
- ・ 労働基準局などでも指針を出しているリスクアセスメントについて、展開をしていく話を聞いたが、調べて、早めに対応をお願いしたい。
- ・ 北海道増設事業については、設計段階から労働安全衛生面等について、作業安全衛生部会の委員に意見を聞くべきである。

(3) その他

- ・ もっと早く議事要旨の確認をされたい。

5 問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社 事業部 事業企画課

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会事務局 担当:梅野

Tel:03-5765-1919 Fax:03-5765-1940 e-mail: jigyobu@jesconet.co.jp